

よいことのために
手を取らあおう



Rotary
Club of Uozu



2025 - 26年度
会長 青山 圭一
幹事 島田 修

会長あいさつ 青山 圭一 会長



今日は3月、花粉晴れみみたいな天気だ。世界では株価や石油価格などたいへんなことになっているが、日本はまだ平和。WBCはNetflixを契約しないと見られないが

日本人がこれにどう反応するか興味を持っている。

本日の卓話は富山労災病院の副院長で泌尿器科部の長石浦先生。北陸トップクラスの泌尿器医療を展開されている。楽しい先生だが、すごく学究肌の研究者的な要素を持っておられる。高齢の男性が多いので、いつもより真剣に卓話を聞いてもらえと思う。

出席報告

3458回 14名 77.77%
3456回 メークアップ なし
3456回 72.22%



Happy Birthday



大江忠男さん
58歳になりました。先日息子からスキーに誘われて行ってきました。一緒に行ったのは5年ぶり。帰りに運転してもらえのりで久しぶりにグレンデで飲んで帰ってきました。

委員会報告

茶谷 勝さん



3月2日に魚津RCの委員としてNice TVの番組審査委員会に参加しました。防災教育の話の中で、つまらない「行政だより」は寸劇をまじえて楽しい作りの「労災だより」を見習えという話がありました。今日は労災病院の石浦副院長がゲストなので話を紹介しておきます。

ニコボックス報告

青山圭一さん 石浦先生、本日は御多忙のところ卓話にお越しいただきありがとうございます。
川岸芳雄さん 富山労災病院副院長石浦先生今日はよろしくお願ひします。

ゲスト卓話「排尿障害に対する専門的な治療」 富山労災病院副院長泌尿器科部長 石浦嘉之様



排尿とは、脳からの命令が背骨を伝って膀胱と尿道に伝わり、両者が協調して尿を体外へ排出する一連の働き。尿を溜める「蓄尿」の際は膀胱がリラックスして広がり、尿道はしっかりと締まっているが、逆に尿を出す

「排尿」の際は、尿道が緩み、膀胱が収縮する。この精緻な連携が崩れると、排尿障害が起こる。男女の身体構造の違いは、特有の疾患に繋がる。男性は尿道が約18cmと長く、加齢に伴い肥大しやすい「前立腺」という臓器があるため、尿の勢いが弱まるなどの症状が出やすくなる。一方、女性は尿道が約4cmと短く、出産や加齢で「骨盤底筋」が緩みやすい構造です。これにより、膀胱や子宮が下がる骨盤臓器脱や、咳・くしゃみで尿が漏れる「腹圧性尿失禁」といった疾患が生じやすくなる。

排尿障害を引き起こす疾患には、脳梗塞や脊髄損傷、糖尿病などによって排尿をコントロールする神経が障害される「神経因性膀胱」がある。また、急な強い尿意を抑えきれなくなる「過活動膀胱」も非常に多い。より専門的な対応が求められる特殊な疾患も存在する。膀胱に原因不明の痛みや強い頻尿が起こり、国の指定難病でもある「間質性膀胱炎」。事故による骨盤骨折やカテーテル治療が原因で尿道が狭くなる「尿道狭窄症」。そして、飲み薬では症状が改善しない「難治性過活動膀胱」などだ。治療はまず、生活習慣の見直しで水分・塩分摂取の調整、適度な運動や、骨盤底筋を締める体操尿意を我慢する膀胱訓練といった「行動療法」から始める。これらで効果が不十分な場合は薬物療法に進む。一般的な治療では解決しない難治性の症状には、高度な外科的治療が必要となる例えば、難治性過活動膀胱には、内視鏡で膀胱内に直接薬を注入する「ボツリヌス療法」。前立腺肥大症後の重い尿失禁に苦しむ男性には、体内に器具を埋め込み、自分の意思で尿道を閉じられるようにする「人工尿道括約筋植込み術」などがある。「八味地黄丸(はちみじおうがん)」は、加齢に伴う機能低下を補う代表的な漢方薬。漢方では、特に高齢者の頻尿や残尿感、夜間尿といった排尿の悩みは「腎(じん)」の機能が衰える「腎虚(じんきょ)」が原因の一つと考えられている。八味地黄丸は、この「腎」の働きを温め、補うことで体全体のバランスを整える効果が期待されている。体質改善を通じて間接的に効果を発揮する点特徴だ。富山労災病院の泌尿器科は、紹介状がなくても直接受診できるので相談して欲しい。

よいことのために
手を取りあおう



Rotary
Club of Uozu



2025 - 26年度
会長 青山 圭一
幹事 島田 修

会長あいさつ 青山 圭一 会長



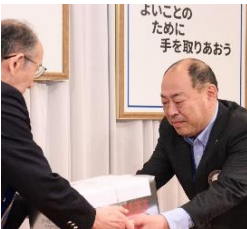
今日は魚津で卒業式の日。事務局の田中さんも今日はお子さんの卒業式で竹内さんがピンチヒッター。子供さんやお孫さんの成長を実感するが、少し寂しい気持ちになったりもする季節

だ。報道では石油備蓄を日本が先陣を切って放出するというのだが、昔のようなトイレットペーパーの買いだめようになるのではないかと思う人いるのではないか。今日はその大事なエネルギーに関しての卓話なので詳しいことが聞けるといいと思っている。

出席報告

3459回 13名 72.22%
3457回 メークアップ 中田さん
3457回 72.22%→79.22%

Happy Birthday



茶谷 勝さん
51歳になります。家を出る時に今日、卵の日じゃないかと言われました。「少年老い易く学成り難し」と言いますが、あっという間でした。1年1年みなさんと貴重な日々を過ごせればと思っています。

委員会報告

小学生英語スピーチコンテスト委員会
委員長青山晶子さん

第7回コンテストは8月23日(日)の予定です。対象はこれまで通り小学生。課題文はこれまで童話とか日常生活の優しい英語でしたが、今年は魚津に関する話題を取り入れようと思っています。具体的には魚津漆器や蜃気楼などで、小学生や中学生になってもそのまま魚津を紹介する際に使えるようになればいいと考えています。



会員卓話「電気とエネルギーについて」 寺腰直明さん



日本の政策の基本方針として、最新の第7次計画では、S+3E、すなわち「安全性(Safety)を大前提に、安定供給(Energy Security)、経済効率性(Economic Efficiency)、環境適合(Environment)

を同時に追求する」原則を維持しています。加えて、温室効果ガス削減目標に整合する形で脱炭素を進めることが柱です。電力需要については、従来は省エネ進展により減少も見込まれましたが、近年はAI・データセンター等の拡大により増加基調へ転じ、今後も上振れが懸念されます。

次に供給面です。現状の発電は火力が約7割を占め、燃料輸入への依存が高いことが我が国の構造的課題です。エネルギー自給率は極めて低水準であり、地政学リスクの影響を受けやすい状況にあります。とりわけホルムズ海峡は狭隘で封鎖リスクが指摘され、同海峡を通過する原油・ガスはアジア向けが大宗を占めるため、情勢悪化は価格・調達両面で波及し得ます。燃料価格の上昇が長期化すれば、燃料費調整制度等を通じ、数か月遅れで電気料金へ反映され得る点も留意が必要です。

電源別の整理として、再生可能エネルギーは主力化を進める一方、出力変動が大きく、需給同時同量の制約上、調整力の確保が不可欠です。この調整電源として火力の役割は当面残存します。原子力は、福島事故以降の厳格な規制を前提に、稼働可能な設備を最大限活用しつつ、将来の代替として次世代炉等も視野に入れます。原子力はCO2排出が小さく、燃料調達先も分散可能で、ベース電源としての適性が高い点を重視します。水力は新規開発余地が限定的であるものの、揚水により蓄電的機能を果たします。太陽光は普及が進み出力制御も生じており、環境と調和した導入(例:新型太陽電池)を追求します。風力は洋上、とくに浮体式に期待がある一方、採算性等の課題があります。地熱は有望ですが調査・開発に長期を要し、公的支援が鍵となります。

第7次計画が掲げる再エネ拡大、原子力の一定活用、火力の低減という方向性は妥当である一方、実現には技術・コスト・系統制約等の課題解決が不可欠であり、継続的な取り組みが必要です。